

## 事業の名称「バイヨン中学校ネット環境整備事業」

### 1 補助事業の設定の経緯

2013年10月、JST（アンコール遺跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人材支援機構）の構想のもと、本法人や多くの支援者の協力を得てカンボジア王国シェムリアップ州アンコールクラウ地域に初の中学校が開校した。そして、4年目を迎えた現在、教員数13名、生徒数475名の中学校に発展してきている。本法人においては、開校後も理科室の建設、運動場整備や体育施設の設置、さらにソーラパネルによる電力活用事業にも着手し、当校の技能・技術教育及びパソコンを活用しての情報教育振興の開学理念の具現化に協力する支援を継続してきた。

学校のあるアンコールクラウ地域はこれまで無電化地域で、生活の不便さはもちろんのこと授業実践に関わっても自ずと教材教具が限定され、その形態も教師主導の教授型一斉授業がすべてであった。しかし、本年4月、待望の電気が通じたことにより、特にパソコンを活用した情報教育に活路が拓かれ、生徒の職業選択の可能性をより大きく広げる教育活動の足場が築かれた。

これらの構想の実現に期待を込め、貴会の助成申請を提出するに至った。

### 2 補助事業の目的

バイヨン中学校の子どもたちの学びたい学習内容のトップに挙げられるのがパソコン授業である（2015年アンケート集計結果より）。現状のパソコン操作技能の習得だけにとどまることなく、ネット環境を整えば、入手情報・発信情報が多様化し、子どもたちの職業選択や世界観も大きく変化していくものとする。あわせて、日本の学校とのスカイプによる同時授業（蒲郡中学校との英語の交流授業の企画あり）も可能となり、日本とカンボジアの新たな教育活動の展開が開かれるもの期待している。

### 3 補助金等交付申請額の算出基礎

※現地決済分以下②③⑥⑦の算出根拠となる為替レート（基準日：2017年7月 日「日本銀行金融市場局情報」1\$=110.5¥を受け1\$=110¥で基準換算し算定）

※人件費はすべて工事費の中に見積もられて算定されている。

#### 〔本事業の経費内訳〕

① 日本人講師航空運賃（2人分）	160,000円
② 日本人講師宿泊代（2人分）	63,000円
③ 電波受信アンテナ設置費	176,000円
④ スカイプ通信用カメラ代	5,000円
⑤ パソコン（1台）	50,000円
⑥ 配線等工事費	15,000円
⑦ ネット契約料（1年間分）	90,000円
合計	559,000円

### 4 補助事業の経費の配分およびその用途方法

上記3の④⑤の経費を貴会の補助金である。

④ スカイプ通信用カメラ代	5,000円
⑤ パソコン（1台）	50,000円
合計	55,000円

※超過分については自己資金で充当する。 ~~55,000~~